

2024年1月4日09:30(日本時間) / 00:30(協定世界時)まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI[®]

日本の製造業、低迷深刻化

主な動向

生産高と新規受注数の縮小が加速

購買価格のインフレは加速

事業の見通し、5か月ぶりの高水準を更新

2023年12月のデータ収集期間：2023年12月6～15日。

日本の製造業の業況は12月も縮小が続き、その減少幅は2月以来最大だった。国内外両方の製品市場で顧客の不確実性が報告される中、生産高と新規受注数は共により速いペースで減少。販売価格の上昇ペースは緩やかになるも、購買価格のインフレは高止まりで推移し、過去3か月間の最大値を更新した。事業の見通しについては、新製品の発売や製品需要の回復を期待して改善した。

12月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数[™](PMI[®]) (製造業の全体的業況を表す指標)は、7か月連続で変化なしを表す重要な50.0を下回った。さらに、指数は11月の48.3から47.9に低下し、その減少幅は2023年2月以来最大だった。

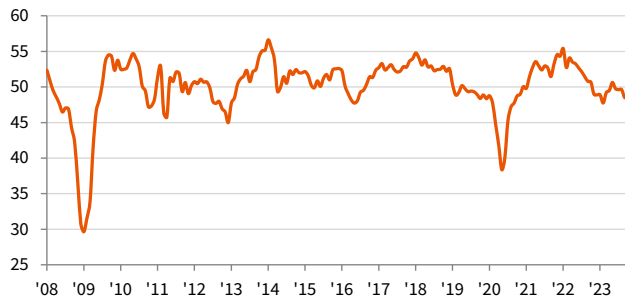
企業らは引き続き、生産高および新規受注数共に減少したことを報告した。新規受注数の減少は特に顕著で、調査回答企業らは国内外市場が引き続き不透明であることを指摘した。とりわけ、エレクトロニクスの需要低迷が報告されたほか、一部の調査回答企業は投資活動の縮小を指摘した。中国や欧州、米国など主要輸出先で需要の低迷がみられ、その結果、新規輸出売上上の減少率は6か月ぶりの高水準となった。

売上と需要の減少を受け、製造業は購買活動を17か月連続で縮小し、その縮小幅は3年半で最大だった。企業らは、新規受注数と生産高の減少により、購買活動が鈍化したことを指摘。一部の企業らは在庫の減少に注力したことを報じたが、購買品在庫の増加を防ぐことができず、在庫水準は3か月連続で微増を記録した。

購買品の需要の減少は、12月の価格下落には至らなかった。むしろ、日本の製造業では原材料価格の高騰が報告される中、購買品のインフレ率が3か月ぶりの高水準に達し、購買コストは顕著かつより速いペースで上昇した。調査回答企業の一部は、円安が輸入品の価格を押し上げたことと指摘した。

企業らは12月、購買コスト上昇分の一部を顧客に転嫁しようと努めたため、販売価格はさらに上昇した。しかし、競争圧力のため販売価格の

(次頁に続く)

auじぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善

出所：auじぶん銀行、S&PグローバルPMI

コメント

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、エコノミクスディレクターのPaul Smithによる最新調査結果のコメント

「12月の日本の製造業の業況は、市場の不確実性により新規受注数が減少したことで生産高が減少し、その結果さらに悪化した。中国や欧州、北米を拠点とする主要輸出先や、エレクトロニクスなどの重要セクターの需要減少が報告されたほか、一部には投資活動の縮小を指摘する企業もみられた。

輸入品を筆頭に原材料費の高騰が報告される中、購買価格のインフレは3か月間の最高値を示し、コスト圧力になお拍車がかかった。企業らは一方で、価格決定力に重くのしかかる競争圧力を受けて、コスト上昇分の顧客への転嫁については、以前に増してやや慎重だった。

今後一年間の見通しについては、企業らは顧客の在庫調整が落ち着き、新製品の発売と併せて、2024年の生産高上昇につながるだろうと自信を示した。」

上昇は限定的で、インフレ率は調査期間である2年半弱の期間において最低水準だった。

今後の見通しについては、12月も楽観的な見方が維持された。調査回答企業らは、特にエレクトロニクスの需要が回復すると期待を寄せていた。新製品の発売が予定され、顧客の在庫調整も落ち着くことが予想されている。景況感は概して回復傾向で、5か月ぶりの高水準に達した。

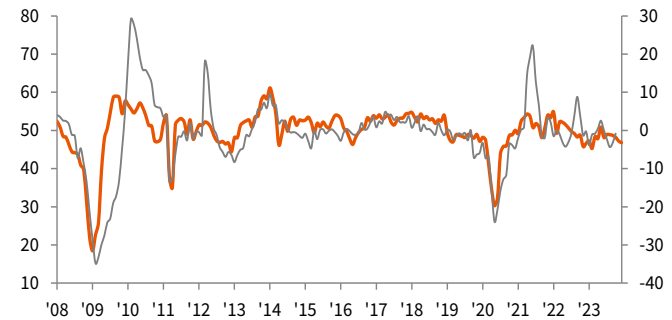
最後に、年末の雇用はほぼ変化なしで、11月からわずかに増加したにとどまった。長期にわたる人材欠員を補充したと指摘する企業も一部あったが、退職者に代わる人員登用をしない企業も報告された。生産能力は全体として十分に高水準であり、受注残は2023年2月以来の速いペースで顕著に減少した。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高

前年比 (%)



出所: auじぶん銀行、S&PグローバルPMI、経産省 (S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス)

お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行

Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Paul Smith

エコノミクスディレクター
S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス
電話: +44 1491461038
paul.smith2@spglobal.com

SungHa Park

コーポレートコミュニケーションズ
S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス
電話: +82 2 6001 3128
sungha.park@spglobal.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、S&Pグローバルが製造業約400社の購買担当者へ毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2023年12月のデータ収集期間: 2023年12月6~15日。

PMI調査方法の詳細は、economics@spglobal.comへお問い合わせください。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは

auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専門銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

S&Pグローバルについて

S&Pグローバル・インク (NYSE: SPGI) は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください: www.spglobal.com

S&Pグローバルのプレスリリースを受け取りたくない場合は、katherine.smith@spglobal.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、www.spglobal.com/marketintelligence/en/mi/products/pmiをご覧ください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクは、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱漏、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとらたいたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクは一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はS&Pグローバル・インクの商標または登録商標、もしくはS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に使用が許諾されたものです。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱漏(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

PMI®

by S&P Global

© 2024 S&P Global